

## 第 2 回 氷川参道歩行者専用化検討協議会 議事要旨

### 開催概要

|      |   |
|------|---|
| 日時   | 平成 27 年 2 月 24 日(火)午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分  |
| 場所   | 大宮区役所南館 302 会議室   |
| 出席者  | <p><b>【学識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 埼玉大学 理工学研究科 教授 久保田 尚</li> <li>・ 埼玉大学 理工学研究科 助教 小嶋 文</li> </ul> <p><b>【交通管理者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 埼玉県警察本部 交通規制課 係長 佐藤 弘康</li> <li>・ 大宮警察署 交通課 交通規制係長 北道 明</li> </ul> <p><b>【沿線自治会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 吉敷町1丁目自治会 副会長 関口 彰一</li> <li>・ 吉敷町3丁目自治会 会長 本島 紋次郎</li> <li>・ 吉敷町4丁目自治会 会長 大澤 規郎</li> <li>・ 浅間町1丁目自治会 会長 秋山 悦男</li> <li>・ 浅間町2丁目自治会 会長 矢内 桂一郎</li> <li>・ 大門町3丁目自治会 会長 逸見 裕一</li> <li>・ 仲町3丁目自治会 会長 山田 雄俊</li> <li>・ 東町1丁目自治会 会長 塚谷 英一</li> <li>・ 下町明美会 会長 岡村 保</li> </ul> <p><b>【協議会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 氷川の杜まちづくり協議会 副会長 山田 とも子</li> <li>・ " 副会長 横山 好之</li> </ul> <p><b>【事務局】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市局都心整備部 部長 中野 英明</li> <li>・ 次長 橋本 務</li> <li>・ 氷川参道対策室長 桑原 一元</li> <li>・ 主査 大澤 淳一</li> <li>・ 技師 井上 裕允</li> <li>・ 建設局土木部 参事 中嶋 亮</li> </ul> |
| 配布資料 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 資料 1 第1回氷川参道歩行者専用化検討協議会の意見要旨</li> <li>・ 資料 2 氷川参道の位置づけと検討事項と今後の進め方</li> </ul>  |
| 議題   | <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 第 1 回氷川参道歩行者専用化検討協議会の意見要旨について</li> <li>(2) 氷川参道の位置づけについて</li> <li>(3) 検討事項と今後の進め方について</li> </ul>   |

## 1. 開会

(久保田座長)

- ・開会のあいさつ

## 2. 議題について

### (1) 第1回氷川参道歩行者専用化検討協議会の意見要旨について

(大澤主査)

- ・(1)第1回氷川参道歩行者専用化検討協議会の意見要旨について説明

### (2) 氷川参道の位置づけについて

### (3) 検討事項と今後の進め方について

(コンサル)

- ・(2)氷川参道の位置づけについて、(3)検討事項と今後の進め方について説明

(逸見会長)

- ・市民意向について、氷川の杜うるおいのあるまちづくり推進協議会と学生コンペの提案が整理されているが、もう少し市民の意向を深める必要がある。
- ・大宮区役所の移転が予定され、大門町2丁目の再開発事業も本組合の設立を控えていると聞いている。また、中山道については歩道整備が進み、沿道の建て替えも進んできており、大規模な駐車場も多い。これらに伴って、中山道の車両は増えているのではないかと。それに対して、氷川緑道西通線沿道には現在大型の駐車場はない状況である。車両の通行を予測するにあたってはこういった状況も考慮する必要があるのではないかと。
- ・氷川参道の歩行者専用化の目的は、大きくは歴史・文化軸の形成という点だと思うが、氷川緑道西通線の東西で地域の位置づけが異なるのではないかと。氷川参道は大宮駅東口駅前の商業地とは離れた位置にあり、住宅街の中を通る道路であって、観光的な感覚とは少し離れた位置にあるという認識が必要だと思う。

(久保田座長)

- ・大宮駅地域戦略ビジョンにおける位置づけ(P3)という事で良いかと。

(逸見会長)

- ・良いと思うが、氷川参道まで商業的な区域としてひとくりにするのは違和感がある。

(コンサル)

- ・市民意向について、二事例だけを取り出して整理したが、今後、市民意向については、意向調査も含めて整理していきたいと考えている。
- ・駐車場については、シミュレーションでもその立地位置や影響を整理することが出来る。

(山田副会長[協議会])

- ・参考1の区間図(P16)の紫色の点線の箇所に氷川参道と並行する道路が整備されたが、地域では様々な憶測も呼んでいる。こういった性格の道路なのか。

(糸原室長)

- ・道路の位置づけとしては、埼玉県合同庁舎移転後の接道条件の改善のためと、氷川参道を歩行者専用化した際の行き止まりの解消などに効果があると考えている。
- ・これ以上の延伸計画は、現段階ではない。

(久保田座長)

- ・氷川参道との関係はどうなっているのか。

(糸原室長)

- ・氷川参道の並木敷きの外側に氷川参道と並行して道路が整備されている。
- ・南向きは、右左折可能となっているが、北向きの車両に対しては右折禁止(氷川参道に出られない)の交通規制がかかっている。

(大澤会長)

- ・さいたま新都心では、カタクラの新規店舗が近々開店する予定と聞いている。交通量調査は開店後に実施した方がよい。

(塚谷会長)

- ・氷川参道の所有権はどうなっているのか。また、歩行者専用化に対して氷川神社の意向はどうなっているのか。

(糸原室長)

- ・一の鳥居から大宮中央通線までの間については、中央部分に市の所有地の市道が通っている。両側の並木敷きの部分は氷川神社の土地である。
- ・氷川神社としては、参道という認識の中で、基本的には車を通さない方がよいと考えているようである。

(塚谷会長)

- ・氷川神社としては、参道として車を通さないという強い意向はあるのか。

(糸原室長)

- ・意向はあったとしても、地元との関係性などから氷川神社としてもはっきりとは言いにくい点だと思う。

(大澤会長)

- ・氷川参道には、地元のお祭りの際には山車や神輿を通したい。現在と同様の機能として確保されると考えて良いか。

(糸原室長)

- ・しつらえの方法については、今後検討するが、今の機能は維持していきたい。

(山田副会長[協議会])

- ・氷川参道の沿道に住んでいると、新緑の季節には排気ガスがこもると感じる。木が弱っているのは、踏み固めもあるかもしれないが、排気ガスの影響が大きいのではないか。
- ・時間帯で交通規制を行うとした場合、夜間などに、車両が通行しないという認識で通行している歩行者と、スピードを出した通過車両との事故が心配される。

(久保田座長)

- ・これまでは、夜間の交通量調査は行ってこなかった。時間帯の交通規制を含め規制方法を検討するのに、24時間調査を実施する必要があるかもしれない。

(逸見会長)

- ・通過交通イメージ(P13)を見ると、約半数は通過車両ではないという事だが、通過以外の車両が少し多い印象である。氷川参道の途中のどこで逸れていくのか。
- ・今後、歩行者専用化していくときに、中山道から南大通東線への右折車両が増加すると思うが、処理しきれない車両も出てくるのではないか。
- ・氷川参道を通る車両が、大宮中央通線から先どちらに向かうかや、途中でどこへ逸れていくかなども調査が必要ではないか。

(久保田座長)

- ・通過交通イメージ(P13)では、通過車両以外の交通量が実態より多く出ていると感じるため、再度交通量調査を実施して正確な交通量を把握する必要がある。
- ・中山道から南大通東線への右折車両についても、今後実施するシミュレーションの中で検討を行っていくこととする。
- ・これからの大まかなスケジュールについて、事務局はどのように考えているのか。

(糸原室長)

- ・来年度予算が決定し次第、実施すべき調査を絞り込んで行っていきたい。
- ・次回の協議会開催については、調査結果が出てからと考えているが、時間が空いてしまうので、その間も市民団体とも連携しながら、道路の設えなども含め検討を進めていきたいと考えている。

(中野部長)

- ・地元の意向整理が薄いのではないかという意見については、氷川参道での過去からの様々な取り組みの成果を読み込む必要があると考えている。
- ・その上で、現状の意向を確認し、過去の意向と対比しながら、地域の意向を十分に確認していくことが重要である。
- ・交通量調査については、大宮駅東口の駅前広場の関係での調査や、西口での調査も予定しているため、各事務所で調整し、効率的に行えると良いと考えている。

(本島会長)

- ・各自治会の総会が4月から開かれることになる。歩行者専用化の件について、検討中である旨を知らせながら、要望などを聞く機会として、総会などの場を利用するのも手である。

(塚谷会長)

- ・その場合、現在検討しているということは、白紙に戻すことなく、歩行者専用化にすることを前提としてよいか。
- ・今現在氷川参道を利用されている方の中には、今と変わることを反対される方もいるかもしれない。

(中野部長)

- ・これまでの取組経緯からすると、当時は歩行者優先の道にするという合意があった。
- ・その経過措置としてこれまでの取組(歩車分離等)を行ってきた。
- ・基本的には人優先の道というのが、当時の大多数の意見であった。
- ・また、市の計画や方針の中では、歩行者中心という位置付けで整理を行っている。

(糸原室長)

- ・意見を伺うにあたっては、賛成反対も含めて議論していただいて構わないが、反対される理由についても聞いていただき、今後の対応の参考とさせていただきたい。

(大澤会長)

- ・2年後に明治天皇行幸150年ということで、氷川神社も様々な検討を行っている。
- ・市と氷川神社でも十分に情報交換してほしい。

(塚谷会長)

- ・この会議に、氷川神社の関係者がいても良いのではないかと。

(糸原室長)

- ・現在、市と氷川神社との間で概ね月1回くらい情報交換している。
- ・事務局を通じて氷川神社の意向も反映させていきたいと考えている。

(久保田座長)

- ・次回協議会は、事務局の調査結果を踏まえて開催することとするが、その間にも広く意見交換などを行っていくこと。

(糸原室長)

- ・今後は市民団体と連携して、歩行者専用化に関するワークショップの開催なども考えており、そちらの内容も協議会の場にフィードバックしたいと考えている。

以上